

平成26年度木津川市一般会計 補正予算第6号について（概要）

総務部財政課

平成26年度補正予算第6号は、平成26年度国の補正予算により措置された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した総合戦略の策定、地域における消費喚起等を促進するための予算をはじめ、府制度の活用、その他既定予算の執行状況と事業の進捗状況を精査した上で、将来に備えた予算などを計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	277億5,345万0,000円
補正額	△3,615万8,000円（△0.1%減）
補正後	277億1,729万2,000円

2 予算の内容

【主な歳入】

◎市税

市民税（個人現年課税分・法人現年課税分）	△700万円減
固定資産税現年課税分	3,000万円増

◎地方交付税

普通交付税	1,015万5,000円増
-------	---------------

◎分担金及び負担金

保育所保育料（現年度分）	△3,630万8,000円減
クリーンセンター整備事業費負担金	△1,304万2,000円減

◎国庫支出金

地域住民生活等緊急支援のための交付金	1億3,800万円
クリーンセンター整備事業費国庫交付金	1,200万円増
道路新設改良事業費国庫補助金	△5,790万8,000円減

◎府支出金

省エネ・グリーン化推進地域エコ活動支援事業費府補助金	△2,990万9,000円減
----------------------------	----------------

京野菜等生産加速化事業費府補助金	803万2,000円増
◎財産収入	
土地売却収入	1,943万8,000円増
◎寄付金	
福祉指定寄付金	36万6,000円増
◎市債	
クリーンセンター整備事業債	△1,420万円減
道路新設改良事業債	△4,520万円減
橋りょう改修事業債	△980万円減
街路事業債	△3,050万円減

【主な歳出】

◎地域住民生活等緊急支援のための交付金の活用

【地域創生先行型】（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費）

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定	800万円
地域公共交通の利用促進とネットワーク形成	300万円
小さな拠点観光事業	600万円
市の魅力発信	500万円
観光・市民サービス拠点の機能強化	2,300万円

【地域消費喚起・生活支援型】

（商工業振興事業費、高齢者の元気な生活支援事業費、子育て生活支援事業費）

地域経済の活性化（プレミアム付商品券発行補助）	4,300万円
高齢者の元気な生活支援	2,600万円
子育て生活支援	3,100万円

◎府制度の活用

地域農業担い手支援補助（地域農業再生事業費）

1,003万9,000円

◎事業の進捗状況から

クリーンセンター整備事業費	△1,726万3,000円減
道路新設改良事業費	△1,791万4,000円減
木津山田川線道路改良事業費	△5,950万8,000円減
内垣外内田山線他道路改良事業費	△7,500万円減
橋りょう点検修繕事業費	△1,310万円減
東中央線整備事業費	△5,704万5,000円減

◎次年度以降に備えて

合併算定替逓減対策基金元金積立金 2,371万3,000円増

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
所 管	総務部 総務課					
事 業	29	一般管理庶務事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	11,465	42	2,705		120	8,598
補 正 額	△ 133		1,606			△ 1,739
補 正 後	11,332	42	4,311		120	6,859
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	印刷製本費:△133千円皆減 庁舎パンフレットの作成(増刷)を予定していたが、組織機構改革によるフロア変更を反映したうえで、平成27年度に作成することとしたため。					
主 な 特 定 財 源	京都市市町村事務処理特例交付金:1,606千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	デジタル複合機及び印刷機の借上げ等を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	デジタル複合機の導入により、省電力化、事務の効率化を図る。					

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	財政管理費
所 管	総務部 財政課					
事 業	73	基金管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	622,634				14,457	608,177
補 正 額	43,887				20,174	23,713
補 正 後	666,521				34,631	631,890
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	公共施設等整備基金元金積立金:19,585千円増(21,840千円) 土地売払収入等を積立 準財産区等事業基金元金積立金:589千円増(9,188千円) 土地貸付収入等を積立 合併算定替減対策基金元金積立金:23,713千円増(429,090千円) 財源剰余分を積立					
主 な 特 定 財 源	土地貸付収入:510千円、土地売払収入:19,438千円、木津地区土地使用補償金:226千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	決算剰余金の財政調整基金への積立、基金運用による利子収入の基金への積立や事業への活用、あるいは事業実施に際して特定目的基金が有効活用できるよう、寄附金や財産収入などを活用して積立を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	市長公室 学研企画課					
事 業	3632	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間	平成26年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	45,000	40,000				5,000
補正後	45,000	40,000				5,000
補正予算額の 主な内訳	【まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定】 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員報酬等8,000千円皆増 【まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進】 地域公共交通の利用促進とネットワーク形成(バス交通活性化支援委託料3,000千円皆増)、小さな拠点観光事業(観光振興事業委託料等6,000千円皆増)、市の魅力発信(市PR映像番組制作委託料等5,000千円皆増)、観光・市民サービス拠点の機能強化(公衆ネットワーク整備委託料等23,000千円皆増)					
主な特定財源	地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域創生先行型):40,000千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	少子化対策及び東京圏への人口集中の是正のため、まち・ひと・しごと創生法が平成26年11月28日に施行された。この法律第10条に規定する市町村まち・しごと・創生総合戦略を作成及び推進するもの。					
市民参加 の状況	総合戦略策定について、パブリックコメントを実施する。 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会への参画(公募委員)					
将来にわたる 効果等	本市の実情に合った地域社会の形成、定住・交流の推進、人材の確保及び雇用・就労の創出					

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	支所及び出張所費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3252	加茂支所管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間			新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	13,703					13,703
補正額	△ 5,152					△ 5,152
補正後	8,551					8,551
補正予算額の 主な内訳	庁舎改修工事費:△5,152千円減(86千円) 加茂支所防水工事について、施工箇所を一部追加し、平成27年度に施工することとしたため。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	来庁者の利便性や安全性を確保するとともに、庁舎における快適な執務環境を維持し、円滑な事務の執行を図る。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等	保守管理業務の一括発注等により、維持管理経費の削減を図る。					

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	徴税费	目	税務総務費
所 管	総務部 収納課					
事 業	3557	広域連合京都地方税機構負担金事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間	平成25年度から		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	51,016					51,016
補正額	4,562					4,562
補正後	55,578					55,578
補正予算額の 主な内訳	広域連合京都地方税機構負担金:4,562千円増(55,578千円) 派遣職員人件費の精算、共同徴収支援システム(マイナンバー対応)及び法人関係税等支援システム(税制改正 対応)改修に伴う増額等により、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	広域連合京都地方税機構への負担金事業(平成24年度までは滞納事務事業費で予算計上)					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

科 目	款	総務費	項	選挙費	目	京都府議会議員選挙費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3577	京都府議会議員選挙事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】市民と行政のパートナーシップの推進					
事業期間	平成26年度～平成27年度		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	9,403		9,403			
補正額	△1,362		△1,362			
補正後	8,041		8,041			
補正予算額の 主な内訳	期日前投票管理者報酬:△134千円皆減、期日前投票立会人報酬:△228千円皆減、食糧費:△26千円減(10千 円)、印刷製本費:△50千円減(280千円)、通信運搬費:△844千円減(2,444千円)、会場使用料:△80千円皆減 選挙期日が平成27年4月12日執行に確定したことにより、所要の補正を行う。					
主な特定財源	京都府議会議員選挙事務費府委託金:△1,362千円					
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	選挙事務を適正に執行する。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	総務費	項	選挙費	目	市長選挙及び市議会議員選挙費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3578	市長選挙及び市議会議員選挙事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】市民と行政のパートナーシップの推進					
事業期間	平成26年度～平成27年度		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	12,557					12,557
補正額	△ 2,589					△ 2,589
補正後	9,968					9,968
補正予算額の 主な内訳	印刷製本費:△2,589千円減(1,907千円) 選挙期日が平成27年4月26日執行に確定したことにより、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	選挙事務を適正に執行する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	総務費	項	選挙費	目	土地改良区総代選挙費
所 管	総務部 総務課					
事 業	3576	木津土地改良区総代選挙事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】市民と行政のパートナーシップの推進					
事業期間	平成26年度		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	299				299	
補正額	△ 297				△ 298	1
補正後	2				1	1
補正予算額の 主な内訳	投票管理者報酬:△13千円皆減、投票立会人報酬:△22千円皆減、選挙長報酬:△11千円皆減、選挙立会人報酬:△18千円皆減、職員手当:△122千円皆減、消耗品費:△38千円減(2千円)、食糧費:△4千円皆減、印刷製本費:△44千円皆減、通信運搬費:△25千円皆減 平成26年11月11日告示、平成26年11月18日投開票を予定していたが、立候補者届出数が定数(30名)以内で無投票となったことにより、所要の補正を行う。					
主な特定財源	木津土地改良区総代選挙事務費:△298千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	選挙事務を適正に執行する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
所 管	保健福祉部 社会福祉課					
事 業	589	地域福祉基金事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1				1	
補正額	367				366	1
補正後	368				367	1
補正予算額の 主な内訳	地域福祉基金元金積立金:367千円増(368千円) 指定寄付金(2件)を積立					
主な特定財源	福祉指定寄付金:366千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	高齢化社会に対応し、地域における福祉及び保健に関する事業の推進を図るため、地域福祉基金の積立、管理等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
所 管	保健福祉部 高齢介護課					
事 業	689	老人ホーム入所措置事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	24,208				4,170	20,038
補正額	△ 4,800				△ 1,303	△ 3,497
補正後	19,408				2,867	16,541
補正予算額の 主な内訳	老人ホーム入所措置費:△4,800千円減(19,408千円) 死亡による措置者の減少等により、所要の補正を行う。					
主な特定財源	老人保護措置事業費負担金:△1,303千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	経済的理由等で在宅生活が困難になった高齢者を、養護老人ホームに入所措置することにより生活支援を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
所 管	保健福祉部 高齢介護課					
事 業	3633	高齢者の元気な生活支援事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間	平成26年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	26,000	25,480				520
補正後	26,000	25,480				520
補正予算額の 主な内訳	【高齢者の元気な生活支援】 通信運搬費:1,880千円皆増、電算システム等委託料:1,120千円皆増、高齢者の元気な生活支援補助金:23,000千円皆増 平成26年度国の補正予算第1号により創設された地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、介護認定を受けていない80歳以上の高齢者にプレミアム付き商品券を配布することにより、元気に過ごしていただけるよう生活支援を行う。					
主な特定財源	地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域消費喚起・生活支援型):25,480千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	少子化対策及び東京圏への人口集中の是正のため、国において、まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定され、この推進を図るため創設された地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、高齢者の元気な生活支援、また地域の消費喚起を図るもの。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等	高齢者の元気な生活支援、地元消費の拡大、地域経済の活性化					

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人医療費
所 管	保健福祉部 国保医療課					
事 業	957	老人医療助成事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間			新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	178,695		99,307			79,388
補正額	1,155					1,155
補正後	179,850		99,307			80,543
補正予算額の 主な内訳	府支出金返還金:1,155千円皆増 平成25年度老人医療助成事業費等補助金返還金(老人医療助成事業費 1,142千円、老人医療助成事業費 行事務費 13千円)					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	老人の健康の保持と保健の向上に寄与するため、医療費(保険診療分)の一部を助成することにより、福祉の増進を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	国民健康保険費
所 管	保健福祉部 国保医療課					
事 業	989	国民健康保険特別会計繰出事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	303,287	20,708	138,850			143,729
補正額	35,247	2,795	22,439			10,013
補正後	338,534	23,503	161,289			153,742
補正予算額の 主な内訳	国民健康保険特別会計繰出金:35,247千円増(338,534千円) 保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)28,057円、保険基盤安定繰出金(保険者支援分)5,591千円、財政安定化 支援事業繰出金:1,599千円					
主な特定財源	国保保険基盤安定国庫負担金(保険者支援分):2,795千円、国保保険基盤安定府負担金(保険者支援分): 1,397千円、国保保険基盤安定府負担金(保険税軽減分):21,042千円					
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	国民健康保険特別会計への繰出金事業					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険費
所 管	保健福祉部 高齢介護課					
事 業	993	介護保険特別会計繰出事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	613,990					613,990
補正額	1,204					1,204
補正後	615,194					615,194
補正予算額の 主な内訳	介護保険特別会計繰出金:1,204千円増(615,194千円) 地域支援事業繰入金168千円 事務費繰入金1,036千円 ※介護認定審査会事業 電算システム変更					
主な特定財源						
政策を必要と する背景及び 提案の経緯	介護保険特別会計への繰出金事業					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
所 管	保健福祉部 子育て支援課					
事 業	3369	つどいのひろば事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章1【豊かな心を育む教育・文化の創造】子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事業期間	平成21年度から		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	7,121		3,560			3,561
補正額	47	2,389	△ 1,171			△ 1,171
補正後	7,168	2,389	2,389			2,390
補正予算額の 主な内訳	つどいのひろば事業委託料:47千円増(5,778千円) 国・府支出金の基準額が見直されたことなどに伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	保育緊急確保事業国庫補助金:2,389千円、保育緊急確保事業府補助金:2,389千円、京都府子育て支援特別対策事業費補助金:△3,560千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	乳幼児期の子育て親子が気軽につどい、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流し、育児相談などを行う場を提供する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
所 管	保健福祉部 子育て支援課					
事 業	3453	病後児保育委託事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章1【豊かな心を育む教育・文化の創造】子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事業期間	平成22年度から		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	4,819		1,613		20	3,186
補正額	434					434
補正後	5,253		1,613		20	3,620
補正予算額の 主な内訳	病後児保育委託料:434千円増(5,253千円) 対象者の増加(20名)が見込まれることから、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	病気の回復期にあり集団保育や家庭での保育が困難な場合に、児童を一時的に保育するサービスを提供することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
所 管	保健福祉部 子育て支援課					
事 業	3634	子育て生活支援事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章1【豊かな心を育む教育・文化の創造】子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事業期間	平成26年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額	31,000	30,380				620
補正後	31,000	30,380				620
補正予算額の 主な内訳	【子育て生活支援】 通信運搬費:1,202千円皆増、電算システム等委託料:1,798千円皆増、子育て生活支援補助金:28,000千円皆増 平成26年度国の補正予算第1号により創設された地域生活等緊急支援のための交付金を活用し、18歳以下の子どもが3人以上いる世帯主に、第3子以降の子ども一人につきプレミアム付き商品券2万4千円分を配布することにより、子育て生活を支援する。					
主な特定財源	地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域消費喚起・生活支援型):30,380千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	少子化対策及び東京圏への人口集中の是正のため、国において、まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定され、この推進を図るため創設された地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、子育て生活支援、また地域の消費喚起を図るもの。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等	子育て生活支援、地元消費の拡大、地域経済の活性化					

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費
所 管	保健福祉部 子育て支援課					
事 業	1125	保育所運営補助事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章1【豊かな心を育む教育・文化の創造】子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事業期間			新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	165,058		45,190			119,868
補正額	20,153	15,709	△ 9,077			13,521
補正後	185,211	15,709	36,113			133,389
補正予算額の 主な内訳	民間保育所運営補助金:20,153千円増(185,211千円) 国・府支出金の基準額が見直されたこと、障害児保育事業の対象者が増加したことなどにより、所要の補正を行う。					
主な特定財源	保育緊急確保事業国庫補助金:15,709千円、保育緊急確保事業府補助金:10,519千円、民間社会福祉施設整備資金借入金利子補給補助金:816千円、京都府子育て支援特別対策事業費補助金:△20,412千円					
政策を必要とする 背景及び 提案の経緯	保育サービスの実施に要する費用を民営保育所に補助する。					
市民参加 の状況						
将来にわたる 効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	民生費	項	生活保護費	目	生活保護総務費
所 管	保健福祉部 社会福祉課					
事 業	1269	生活保護運営管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章2【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】ともに支え合う地域福祉の充実					
事業期間				新規・継続	継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	6,091	2,155	567			3,369
補正額	77,546					77,546
補正後	83,637	2,155	567			80,915
補正予算額の 主な内訳	国庫支出金返還金:77,546千円皆増 平成25年度生活保護費等国庫負担金返還金(生活保護費等負担金77,409千円、セーフティネット支援対策事業補助金137千円)					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生活保護支給事業を公平・適正に執行する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
所 管	生活環境部 まち美化推進課 クリーンセンター建設推進室					
事 業	1481	クリーンセンター整備事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	6章2【環境と調和した持続可能なまちの創造】環境負荷を低減する生活環境づくり					
事業期間	平成22年度～平成29年度			新規・継続	継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	849,115	6,720		542,900	270,158	29,337
補正額	△17,263	12,000		△14,200	△13,042	△2,021
補正後	831,852	18,720		528,700	257,116	27,316
補正予算額の 主な内訳	印刷製本費:△440千円皆減、水道管理設工事負担金:△16,823千円皆減 水道管布設工事に伴う舗装復旧工事を平成27年度に施工することなどにより、所要の補正を行う					
主な特定財源	クリーンセンター整備事業費負担金:△13,042千円、クリーンセンター整備事業費国庫交付金:12,000千円、クリーンセンター整備事業債:△14,200千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	人口増に伴うごみ量の増加、打越台環境センターの老朽化等により新たなクリーンセンターの早期の建設・稼働が必要となっている。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費
所 管	生活環境部 まち美化推進課					
事 業	1501	し尿処理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	6章2【環境と調和した持続可能なまちの創造】環境負荷を低減する生活環境づくり					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	240,653				48,060	192,593
補正額	△ 3,164					△ 3,164
補正後	237,489				48,060	189,429
補正予算額の 主な内訳	相楽郡広域事務組合負担金:△3,164千円減(236,127千円) 大谷処理場の維持管理等に係る負担金が確定したため、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	相楽郡広域事務組合大谷処理場において、し尿や浄化槽汚泥を適切に処理する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
所 管	建設部 農政課					
事 業	3560	地域農業再生事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間	平成25年度から			新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	3,794		3,371			423
補正額	10,039		8,032			2,007
補正後	13,833		11,403			2,430
補正予算額の 主な内訳	地域農業担い手支援事業費補助金:10,039千円増(10,239千円) 京都府の京野菜等生産加速化促進事業を活用し、認定農業者による農機具購入事業(ハウス設置 事業費: 11,617千円、冷蔵庫購入 事業費:1,231千円、ネギ洗浄機購入 事業費:7,236千円)を支援する。 補助率は、府4/10、市1/10で、申請者が5/10を自己負担する。					
主な特定財源	京野菜等生産加速化事業費府補助金:8,032千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	農業経営基盤の安定と米の生産調整の円滑化を図るため、生産調整方針の運用に関する要領に掲げる事務などを行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
所 管	生活環境部 観光商工課					
事 業	1701	商工業振興事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補正前	56,092					56,092
補正額	44,158		42,140			2,018
補正後	100,250		42,140			58,110
補正予算額の 主な内訳	中小企業特別融資制度保証料補給事業補助金:1,158千円増(6,158千円) 【地域経済の活性化】 木津川市商工業振興補助金:43,000千円増(44,500千円) 平成26年度国の補正予算第1号により創設された地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、木津川市商工会に対してプレミアム付商品券発行事業補助金を交付することにより、地元消費の拡大、地域の消費喚起を図る。					
主な特定財源	地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域消費喚起・生活支援型):42,140千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	地域商業の活性化を図るため、商工会への補助、中小企業への支援等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	1773	道路新設改良事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補正前	45,340		5,900	17,264		10,000 12,176
補正額	△17,914			△17,264		△650
補正後	27,426		5,900			10,000 11,526
補正予算額の 主な内訳	道路改良工事費:△17,914千円減(2,050千円)※事業費の確定及び府補助基準変更による 市道1-6号線1,286千円、木津東西線ソーラーライト設置工事0千円、市道木15号線東谷切通線交差点改良424千円、木津駅東地区整備工事付帯工事295千円					
主な特定財源	省エネ・グリーン化推進地域エコ活動支援事業費府補助金:△17,264千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	市内道路の排水対策、舗装改良等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	1777	木津山田川線道路改良事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間	平成18年度～平成26年度		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	109,620	48,400	12,645	36,900		11,675
補正額	△ 59,508	△ 24,633	△ 12,645	△ 18,500		△ 3,730
補正後	50,112	23,767		18,400		7,945
補正予算額の 主な内訳	測量委託料:△270千円皆減、土地購入費:△1,804千円皆減※事業中止による 木津山田川線道路改良工事費:△57,434千円減(48,712千円) ※補正後の道路改良工事費48,712千円の内訳 43,212千円(補助対象)、500千円(単費)、付帯工事費5,000千円、木津山田川線歩道照明設置工事0千円					
主な特定財源	道路新設改良事業費国庫補助金:△24,633千円、省エネ・グリーン化推進地域エコ活動支援事業費府補助金:△12,645千円、道路新設改良事業債:△18,500千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	国道24号の歩道拡幅事業に併せて、木津山田川線の道路拡幅及び自歩道の整備を行うことにより、バリアフリーの歩道による公共施設へのネットワーク形成を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3432	市道2-15号線道路改良事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間	平成19年度～平成30年度		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	21,000	8,800		5,300		6,900
補正額	△ 500	△ 275		△ 100		△ 125
補正後	20,500	8,525		5,200		6,775
補正予算額の 主な内訳	市道2-15号線道路改良工事費:△500千円減(20,000千円)※補助事業15,500千円					
主な特定財源	道路新設改良事業費国庫補助金:△275千円、道路新設改良事業債:△100千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	狭隘な道路の拡幅や市道法面の危険箇所の整備を行うことにより、災害時の緊急避難路の確保を行い、市内道路ネットワークの形成を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路新設改良費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3434	内垣外内田山線他道路改良事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間	平成20年度～平成27年度		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	78,085	33,000		24,300	20,000	785
補正額	△ 75,000	△ 33,000		△ 24,300	△ 20,000	2,300
補正後	3,085					3,085
補正予算額の 主な内訳	道路新設改良工事費:△75,000千円減(2,000千円)※交付申請額の変更による 内垣外内田山線他道路改良工事 2,000千円					
主な特定財源	道路新設改良事業費国庫補助金:△33,000千円、公共施設等整備基金繰入金:△20,000千円、道路新設改良事業債:△24,300千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	木津中央地区の街びらきにあわせて、既設市道の道路拡幅、歩道のバリアフリー整備等を行うことにより、木津駅周辺の公共交通のネットワーク形成を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	橋りょう維持費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3436	橋りょう点検修繕事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】安心・安全、快適なまちづくり					
事業期間	平成26年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	53,000	20,900		12,600		19,500
補正額	△ 13,100	△ 2,090		△ 9,800		△ 1,210
補正後	39,900	18,810		2,800		18,290
補正予算額の 主な内訳	橋りょう補修工事費:△13,100千円減(1,900千円)※業務委託執行見込額の変更に伴う工事実施時期の変更					
主な特定財源	橋りょう点検修繕事業費国庫補助金:△2,090千円、橋りょう改修事業債:△9,800千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	平成25年度に策定した橋りょう長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの補修等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	河川費	目	河川維持費
所 管	建設部 管理課					
事 業	3296	樋門等操作管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	21,272	1,693	215			19,364
補 正 額	2,504	2,798				△ 294
補 正 後	23,776	4,491	215			19,070
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	樋門操作・管理謝礼:2,166千円増(3,676千円)、施設点検業務委託料:338千円増(16,345千円) 樋門操作委託金の増加に伴い、所要の補正を行う。					
主な特定財源	樋門操作国庫委託金:2,798千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	樋門の操作・管理、揚水機場の点検・修繕等を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	河川費	目	砂防費
所 管	建設部 建設課			まちづくり事業推進室		
事 業	1825	急傾斜地崩壊対策事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	4,100				2,325	1,775
補 正 額	△ 950					△ 950
補 正 後	3,150				2,325	825
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	急傾斜地崩壊対策事業費負担金:△950千円減(3,150千円) 平成26年度における京都府施行事業費(63,000千円)の確定に伴い、市負担金(負担率5.0%)について、所要の補正を行う。※大野地区:3,150千円、鹿背山地区:0千円					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業への負担金事業					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
所 管	建設部 建設課		まちづくり事業推進室			
事 業	1853	JR加茂駅前線整備事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	540			300		240
補正額	810			600		210
補正後	1,350			900		450
補正予算額の 主な内訳	加茂駅前線街路事業負担金:810千円増(1,350千円) 平成26年度における京都府施行事業費(10,000千円)の確定に伴い、市負担金(負担率13.5%)について、所要の補正を行う。					
主な特定財源	街路事業債:600千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	京都府が実施する加茂駅前線整備事業への負担金事業					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	街路事業費
所 管	建設部 建設課		まちづくり事業推進室			
事 業	3418	東中央線整備事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	5章1【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 道路交通ネットワークの整備・充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	133,821	5,300		79,400	50,000	△ 879
補正額	△ 57,045			△ 31,100	△ 30,000	4,055
補正後	76,776	5,300		48,300	20,000	3,176
補正予算額の 主な内訳	【東中央線街路整備関連】 土地賃借料:△100千円皆減、東中央線街路整備関連工事費:△13,640千円減(6,478千円) 【東中央線整備事業】 東中央線整備事業負担金:△43,305千円減(70,095千円) ※平成26年度における京都府施行事業費(補助事業:511,819千円、単独事業:10,000千円)の確定に伴い、市負担金(補助事業:13.5%、単独事業10.0%)について、所要の補正を行う。					
主な特定財源	公共施設等整備基金繰入金:△30,000千円、街路事業債:△31,100千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	京都府が施行する東中央線整備事業に対する負担金支払い及び関連事業を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

平成26年度一般会計補正予算第6号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2581	学校保健事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	52,833				2,120	50,713
補 正 額	302					302
補 正 後	53,135				2,120	51,015
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	機械器具購入費:302千円皆増 聴覚障害のある児童にFM受信機を貸与するため、補聴器FM送受信システムを購入する。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	児童、生徒及び教職員を対象に、怪我・病気の予防・早期発見、健康状態の維持を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						